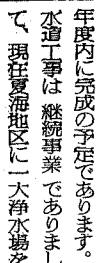


新いはらきタイムス社
TEL. 水台③五三八代

昭和四十年を迎えて

町長 加藤 清



建設して居り、この完成とともに逐次町内の延長をすすめる予定であります。

町私達とは昨年十二月二十一日から二十六日まで毎年行われる、国の予算獲得運動のため毎日交代の日割を定め、議会議員全員火の玉となつて連日上京し、港湾、原研、鹿島線等を中心として活躍しました。昭和四十年度は港湾、原研ともに予算が増大され建設が一段と飛躍する年になると信じます。

特に鹿島線の具体化は本年度の重要課題となりましょう。

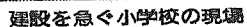
私達はこうした情勢に対応し、一日も早く町の体制を整へ、その整備を図つてゆかなければなりません。先日佐藤首相が来町され、私もおめにかかつて町の情勢を説明いたしました。大洗は今後ますます観光を浴びることと存じます。

祝日、戸毎に立てられ、へんぼんとして競へる日の丸のあの純潔と真心をもつてこそ町民の皆さんと共に前進を図りたいと存じます。終りに新しい年が皆さんの御家庭にとつて御多幸の年になるよう心から祈り上げます。



港湾建設の順調な進捗、大洗原研建設着手、年ごとに増加する観光客、ことしの我が大洗町は更に大きな前進をするであろうことが期待されます。昨年11月3日文化の日をトシ大洗町誕生10周年記念行事が盛大に挙行されました。

昭和40年が躍進大洗町の画期的な年でありますよう、町民皆さん方の一層の御支援御健闘をお祈り申し上げます。



工費一千三百四十万円で

当町立初樹小学校は、明治二十三年飯川さんのヒエ倉を改造して建てられたものであるといわれています。そうするとおよそ七十五年を過ぎています。かねてから地元を過ぎていきます。かねてから地元を過ぎていきます。かねてから地元を過ぎていきます。

目下安藤建設株式会社の手によってつち音も高く、年度内完成をめざして建設がすすめられています

生鮮は勿論のこと、父兄の人達もどんなにか完成の日を待ちわびていることでしょう。

よりよき町づくりに邁進

大洗町議会議長
大貫熊雄



新年おめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、町民各位の御清福と御榮樂を心から御祈り申し上げます。

昨年は我が大洗町誕生十周年を迎え発展のうちに越年することができましたことは、ひとえに皆様のご支援と協力のたまものと心から感謝する次第です。

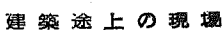
我が大洗町が年を追って発展しさらに隆盛の一途をたどりつつあることは、全町民の愛町精神が極めて旺盛なことで、町行政運営のよろしきを得た結果であると思えます。しかしながら町民の福祉を更に増進し、町民生活の安定を図るには今後幾多の重要問題が山積しております。その解決を図ることは、直接町政に参画する私共には課せられた責務であり、国および県の施策と相俟つて、町財政の範囲内において最大の効果があがるよう努力する覚悟であります。

さて従来から当町で進めてまいり均衡と調和のとれた住みよい町の実現のため、理事者とともに努力して行きたいと考えております。

町民の皆さんには、町を愛され少しでもよりよい住みよい町づくりの一層の御協力のほどを心からおお願い申し上げます。

年のはじめにあたり、簡単ではありますが所感の一端を申し述べさせていただきます。

ことしも十七戸増築



住宅の不足はまことに深刻なものがあつた。國としてもこの早期解決のため積極的な施策を強化し、いろいろと努力を払つてゐます。

当大洗町では早くから町營住宅の建設を実施し既に七十戸の住宅が完成してゐますが、まだまだたりません。一軒の住宅が空くと入居希望者が四十人以上もあり、いかに住宅が不足しているかを痛感させられます。

このような実情に対応し、町ではこゝしも前原山の既に造られてある住宅のすぐ隣りに第一種木造住宅十七戸の建設を總工費八百万円で開始しました。いま棟上も終り、工事は順調にすすんでゐます。

完成は大体三月一杯になる見込です。

診療を受ける場合必ず保険證を持参しましょう

もし病氣になり医師の診療を受けるような場合は、保険証（被保険者証）を必ず病院、診療所の窓口へ提出して下さい。医療費の一部を支払うだけで、必要な一切の保険診療を受けることが出来るわけです。

保険證の提出をしなかった場合は、全額請求されますので、必ず持参して窓口へ提出し診療を受けるようにして下さい。

溫かい心の結集

運動おわる

才未だすけあい運動は、日頃思まれない人々に皆様の温かい心からの御援助をいただいて、明るい正月が迎えられるよう、町社会福祉協議会が毎年才未に実施する尊い運動であります。

昨年十二月三十一日までに次の方方より心のこもった温かいおくりものがありましたので早速次の皆様方に贈り届けました。

ここにお知らせ申し上げますともにご寄附者の皆さん方に心からお礼申し上げます。

四

寄贈者御芳名、

大洗親交クラブ會員一同殿
クリニーク大洗業者一同殿
大洗電報電話局有志一同殿
明正會會員一同殿
大洗町青年団一同殿
大洗町立磯浜小学校児童會一同殿
大貫小学校児童會一同殿
夏海小学校児童會一同殿
磯浜婦人會一同殿
大貫婦人會一同殿
夏梅婦人會一同殿
民生委員會協働會一同殿
坂本 孝殿
水井 忠尚殿
小沼 せい殿
大高 留藏殿
杉野 和子殿
高山 勇彌殿
川崎 義男殿
松山 国昭殿
なおこの配分につきましてはつぎの通りであります。

一般生活困苦者 一四、〇〇〇円
施設、医院入所者 三八名
事務費 四二、〇〇〇円

合計八六、六二六円



水資源の確保こそ、私達人間社会の絶対条件であります。

当町では十餘年まえ、県下にさきをかけて、簡易水道を實現し、住民の福祉増進に大きな貢献を図ってきましたが、年々敷設希望者が増大し、いままでの水源ではとても足りなくなってきました。

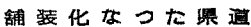
それで町内各地の地下水調査を徹底して行い、磯浜地区に二つ、夏海地区に三つの深井戸を掘り、現在、武方石の水を確保することが

それで町内各地の地下水調査を徹底して行い、磯浜地区に一つ、夏海中地区に浄水施設の建設が急ピッチですめられています。このほか水源地と水源地を結ぶ送水管延び長三キロ米が敷設されます。この

できました。この水を大賀地区、磯浜地区まで送るはると送り、全町の水道化を図る計画です。そのための工事費全額が一億五千万円、で三年で完成する予定です。こ
としはその二年目で五千九百万円
の事業費がきまり、現在夏海日内
中地区に浄水施設の建設が急ピ
チですすめられています。このほ
か水源地と水源地を結ぶ送水管延
長三千百米が敷設されます。この
ようにしておそらく明後年までに
は全町水道化の実現を図る予定で
あります。

住民の皆さん方が文化的な生活の
できるよう、町では老大な予算を
投入し、この実現のため一層努力
を続けています。皆さん方の心が
らの御支援をお願いしてやみませ
ん。

町の発展は道路の完備から」
 この町でも村でも、道路の整備強化には沢山の費用をかけて大重いです。当町でも年々多たの町費を負担し、町内を走る国、県道路のほか、主要な町道の舗装化に全力を注いできましたが、こんど磯浜地区スルカヤ前より明記記念館



までの延長九〇〇米の舗装化を四二〇万円の工事費で県営事業でほぼ完成し、更に記念館前よりゴルフ場入口までの八〇〇米の舗装を工事費六〇〇万円で町営事業でことしの三月一杯には完成させることになっています。

夏の最盛期は勿論のこと、大洗方面を訪れる観光客は、オール舗装の道路を快適な気分で行くことができるわけです。

これで町内の主要な町、県道の舗装は大体完了したわけで、昭和四十年代からは、町内各所の町道の舗装化を次々すすめて行く予定です。

A black and white photograph showing two large bulldozers working on a construction site, pushing large piles of earth. In the foreground, a man wearing a hat and a light-colored shirt is crouching down, looking towards the machinery.

現地の道路新設作業

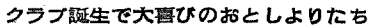
昨年度実情を上廻る

昭和三十一年度英同募金は昨年二
一三、〇〇〇円（六六・三七％）
より本年一九八、一七五円（七七
・二〇％）一〇・八三％上回る好
成績をもつて終了いたしました。
これは町民の皆様と華仕者である
嘱託員各位の深い御理解と御協力
のためものと衷心より感謝いたし
ております。

川口	一、二五〇ヶ
永井町一区	二、三五〇ヶ
寺金町一區	二、五五〇ヶ
明神町八の一	二、二〇ヶ
永井町七区	三、四〇〇ヶ
沢欠	一、三〇ヶ
明神町十区	三、六五〇ヶ
明神町七區	三、五〇〇ヶ
寺金町五區	〇、〇〇ヶ
南清水二區	一、七一〇ヶ
明神町六區	二、九八〇ヶ

この共同募金は県内の老人ホーム、心身障害者収容施設、児童養護施設、保育所、母子ホーム、更生保護施設等の民間の社会福祉事業に配分され、みなさんの温かい愛情が大きな実を結んでおり昨年の秋、城県全体の共同募金総額四千百万円が配分されました。大洗町の町内この募金結果は次のとおりであります。

中宿部	一、六〇〇
上宿三區	二、五〇〇
永町三區	一、九〇〇
蔵前一區	二、四〇〇
汐ヶ丘住宅	九〇〇
一丁目五區	三、〇〇〇
成田區	一、〇〇〇
北清水一區	三、〇〇〇
神明町三の上	三、六〇〇
舟渡二の一	一、九五〇
二二の二	一、四〇〇

[illegible][illegible]

おとしよりの皆さん
おしあわせに……
老人クラブ誕生

おとしよりの皆さんは、水い年月
お家の発展のため、お子さん達の
養育のため大変御苦労をされ、ま
た地域社会の発展のためにも一生
懸命つづかれてまいりました。
こうしたおとしより皆さんを心か
ら尊敬し、健全で安らかな老後の
生活が出来ますようにと、昭和三
十八年八月に老人福祉法が制定さ
れました。

この老人福祉法の趣旨に基づき、大
洗町では民生委員協議会や、婦人
会の皆さん方の御協力を賜わり、
昨年十一月十五日大貫地区蔵前に
大蔵会（会長佐藤留七さんほか四
十四名）がはじめて誕生し、つづ
いて夏梅地区、荒谷、浜欠、古
宿、上宿、下宿、中宿、矢場の名無
地区でみどり会（会長佐々川久太
郎さんほか七〇名）が誕生しまし
た。発会式や新年会などで、おと
しよりの皆さんが一個所に集まり
唄ったり、踊ったりして心から爽
しい一日を過ごされました。

これから各地区でもぞくぞくクラ
ブが誕生することと思いますが、
住民皆さん方の温かい御愛護と御
協力をお願いしてやみません。

今回のクラブの結成に当り各地区
民生委員さん、および婦人会の皆
さん方の御協力に對し深くお礼申
上げます。